

# 栄誉受け 次の目標へ懸望



【岐阜県岐阜市】岐阜県立岐阜商業高等学校(岐阜市)の卒業生が、卒業式で栄誉を受け、今後の目標を語り、懸望を込めて話した。

卒業式は、4月28日(土)に、同校の体育館で行われ、約1,000人の卒業生が参加した。式典では、校長の訓辞、卒業生の代表による挨拶、卒業生への激励の言葉が述べられた。

卒業生からは、就職先で活躍している者や、進学先で勉強中という者など、様々な声があがった。中には、卒業後、地元で起業したいという志を持つ者もいた。

校長は、卒業生に「社会で活躍し、社会に貢献してほしい」と激励の言葉を述べた。また、卒業生への激励の言葉を述べた。

入院など治療費(自己負担)は、高額療養費制度により、自己負担の上限が定められている。この制度は、医療費が高額になった場合に、自己負担の上限を定めることで、患者の経済的負担を軽減する仕組みである。

また、高額療養費制度は、所得に応じて自己負担の上限が異なる。所得が低いほど自己負担の上限は低くなる。これは、所得に応じて医療費の負担能力が異なることを考慮しているためである。

この制度は、患者にとって大きな救いとなる。特に、高額な医療費を支払う必要がある場合、自己負担の上限が定められていることで、経済的負担を軽減することができる。これは、患者の生活を守るための重要な制度である。

【岐阜県岐阜市】岐阜県立岐阜商業高等学校(岐阜市)の卒業生が、卒業式で栄誉を受け、今後の目標を語り、懸望を込めて話した。

卒業式は、4月28日(土)に、同校の体育館で行われ、約1,000人の卒業生が参加した。式典では、校長の訓辞、卒業生の代表による挨拶、卒業生への激励の言葉が述べられた。

卒業生からは、就職先で活躍している者や、進学先で勉強中という者など、様々な声があがった。中には、卒業後、地元で起業したいという志を持つ者もいた。

校長は、卒業生に「社会で活躍し、社会に貢献してほしい」と激励の言葉を述べた。また、卒業生への激励の言葉を述べた。



## ロボットスーツを導入 自費リハビリ施設開業

岐阜、「社会貢献を」

脳梗塞や脳出血などの自費リハビリ施設「リハビリZONE(ゾーン)岐阜」が、岐阜市数田南1にオープンした。自費リハビリ施設では県内で初めて、装着型ロボットスーツ「HAL(ハル)」を取り入れたという。二十八日までの三日間、内覧会を開いた。

HALは、筑波大発のベンチャー企業「サイバーダイン」(茨城県つくば市)が開発。脳の信号をセンサーで読み取り、体の動きを助けるという。動きを繰り返して体に記憶させることで早い回復が期待できるという。施設長で理学療法士の長屋孝司さん(仮名)は「社会貢献できる施設にしていきたい」と話す。ドイツ発祥の治療法「ボイタ法」と組み合わせる。プランは週一回、二〜六カ月で料金は三十万〜九十万円台。

養老町大跡の養老整形外科クリニックの支持で設立された会社が運営する。日曜休み。①リハビリZONE岐阜②058(201)16966 (藤野治英)



内覧会でHALを使うリハビリを紹介する長屋孝司さん(仮名)と岐阜市数田南1の「リハビリZONE岐阜」で

JANUARY - 1st 40th Anniversary of the establishment of the company

Advertisement for a company's 40th anniversary. It features a large image of a building and text in Japanese. The text includes '40th Anniversary' and 'JANUARY - 1st 40th Anniversary of the establishment of the company'. The advertisement is for a company that has been established for 40 years and is celebrating its anniversary in January.